

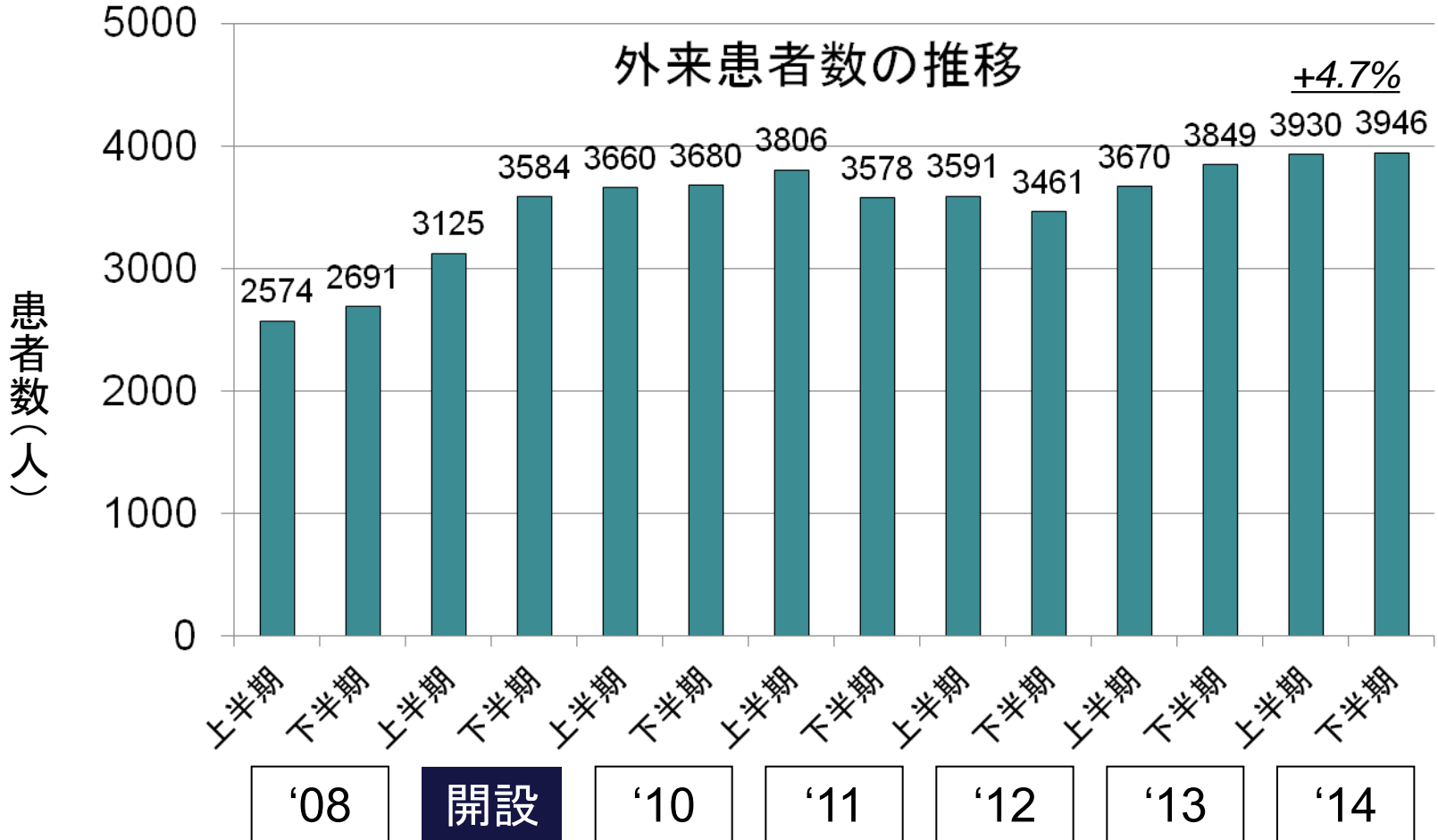


糖尿病センター6年目

診療と指導の連携拡充

チーム活動10年

関連診療科との連携



フットケア外来



- 2009年度 128名
- 2010年度 108名
- 2011年度 85名
- 2012年度 98名
- 2013年度 93名
- 2014年度 110名
- 現状
水曜・木曜日午後
ハイリスク患者の合併症管理
皮膚科医師の援護体制

栄養指導



- 栄養指導実施患者数:
508人(2008年度)
783人(2009年度)
844人(2010年度)
762人(2011年度)
941人(2012年度)
934人(2013年度)
838人(2014年度)
- 現状
糖尿病関連 650人(77.5%)
腎症のみ 57人

透析予防外来

【対象患者】腎症2期以上の糖尿病患者

【施設基準】

▶糖尿病指導の経験を有する専任の*医師、*看護師、*管理栄養士で構成される透析予防診療チームが設置されていること

▶糖尿病教室を実施していること

*糖尿病及び糖尿病腎症の予防指導の経験2年&1000時間以上の糖尿病療養指導&通算10時間以上の研修

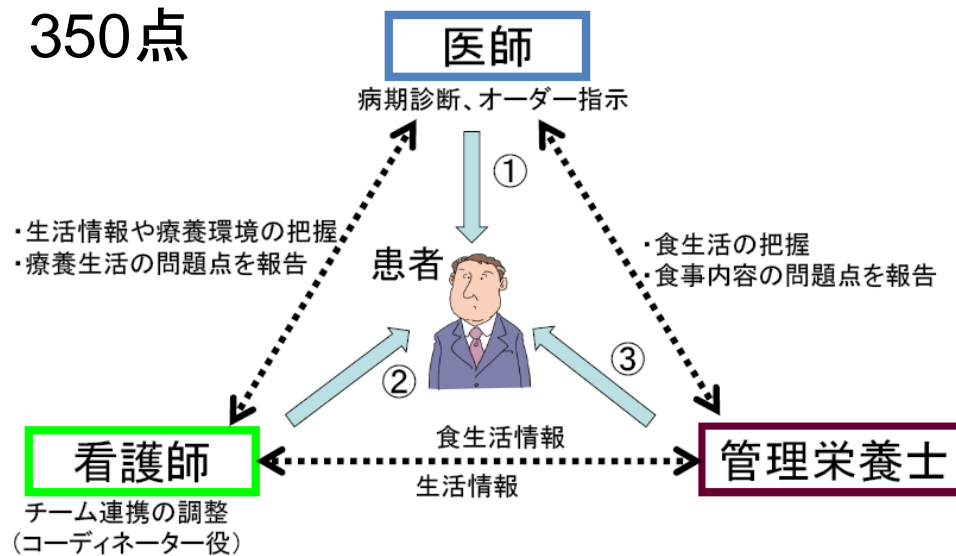
【透析予防指導管理料】 350点

【現状】 金曜日午後

2012年度 28人

2013年度 41人

2014年度 26人



看護部/チーム医療

永翁雅子「チーム医療における糖尿病療養指導士・看護師の役割」糖尿病の最新治療 158-159:Vol.5 No.3 2014

管理栄養士/CGM

小寺真智「CGMを用いた栄養指導」
第51回日本糖尿病学会近畿地方会2014.10.25..

薬剤部/リスク管理

藤田昌樹「高齢者へのビッグアナイド薬の使用実態」
第51回日本糖尿病学会近畿地方会2014.10.25..

内分泌疾患

貫野真由「糖尿病と高血圧の加療経過中に発見されたサブクリニカルクッシング症候群を呈したAIMAHの1例」
第15回日本内分泌学会近畿支部学術集会2014.11.08.

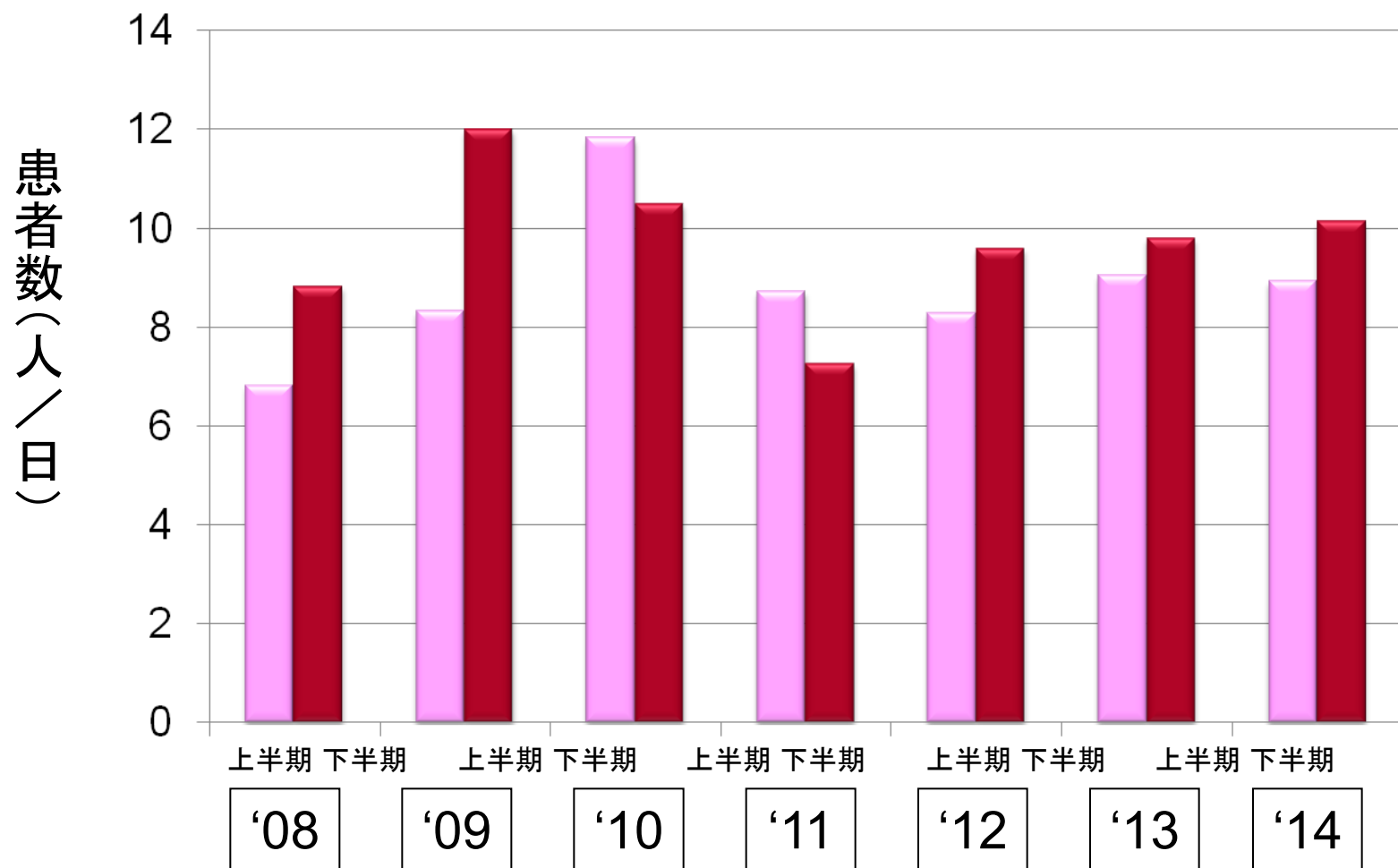
糖尿病疾患

竹本有里「エキセナチドとイプラグリフロジンを用いて治療経過良好な高度肥満合併糖尿病の1例」第51回日本糖尿病学会近畿地方会2014.10.25.大阪

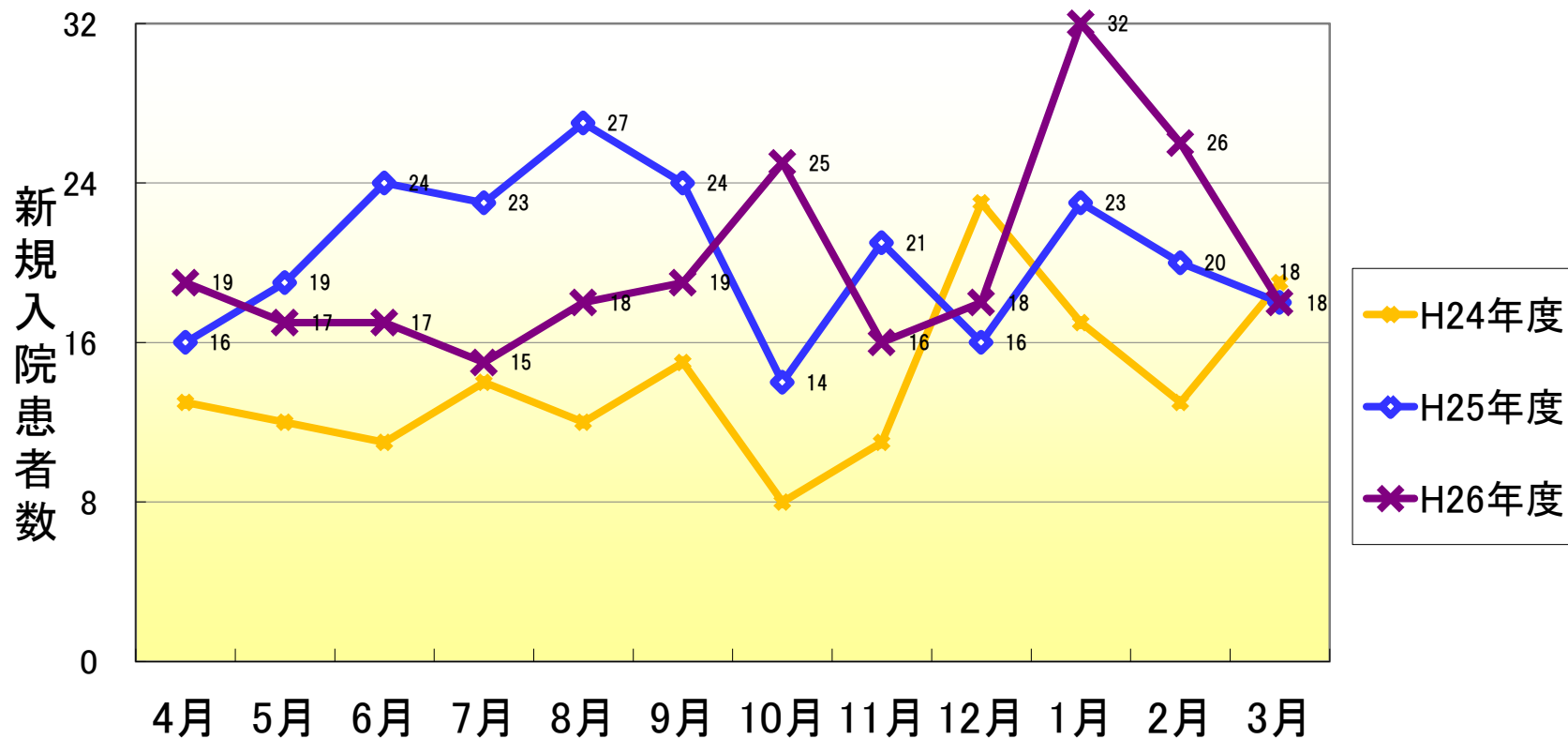
有光絢「呼吸器疾患に合併する糖尿病の管理」
medicina vol51 No.8 2014-8

有光絢「CGMを用いたExBIDからExQWの切り替え効果の検討」、第57回日本糖尿病学会総会 2014.5.22

平均入院患者数(糖尿病・内分泌内科、2014年度)



糖尿病・内分泌内科 新規入院患者数



糖尿病センター 現状と課題

- 糖尿病学会認定施設
内分泌学会認定施設
高血圧学会認定教育施設
- 担当医:スタッフ1人、後期研修医2人
- 日本糖尿病療養指導士 8名・フットケア指導士 1名
(看護部、薬剤部、リハビリテーション、栄養管理室)
- 糖尿病看護認定看護師 1名

1. 医師スタッフ増員
2. 共観症例の業績評価
3. 外来診療の効率化
指導枠の拡充・柔軟対応
電カル業務の負担克服
4. 眼科・皮膚科・循環器科と診療連携
5. 小児科・内科の両教育認定施設取得